

## 被災地・避難所へボランティアに行かれる方の感染症予防について

令和2（2020）年7月7日

被災地では避難所での密集した集団生活による感染症が流行したり、汚水・汚泥・土ほこりを原因とした感染症に罹患するリスクがあります。ご自身が感染症にかからないように、また、被災地に感染症を持ち込まないために、以下の点にご留意ください。

### 1 新型コロナウイルス感染症に関する注意

- 被災地へ出発前 14 日間に集団での会食や会合等で多数の方と接触した方はボランティアを控えてください。
- ご自身に新型コロナウイルス感染症を疑う症状（発熱、咳、のどの痛み、息苦しさ、強いだるさ、下痢、味覚異常、嗅覚異常）がないことを確認してください。
- 被災地での支援活動や休憩等では、三密（密閉、密集、密接）を避けてください。
- 現地で活動を始める前に、活動中に新型コロナウイルス感染症を疑う症状が出た場合にどのような対応をすべきか（症状に関する連絡先や移動手段の確認等）、必ず現地のボランティアセンターや避難所の運営者に確認してください。
- 活動中に新型コロナウイルス感染症を疑う症状が出た場合は、活動を休止し、上記で確認した手順や指示に従ってください。

### 2 被災地へ出発する前の基本的な注意

- ご自身の体調が悪い場合は、ボランティアを延期し、体調が完全に回復してから現地に向かってください。
- 被災地ではマスクや擦式アルコール手指消毒薬が不足している場合があります。ご自身で使われるマスクや手指消毒薬等は、十分な数を予めご用意ください。また、ご自身の体調管理のため、体温計を持参してください。
- ワクチンで予防できる感染症に関しては（以下を参照）、母子健康手帳などでご自身のワクチン接種歴を確認し、望ましいと考えられるワクチンについては、可能な限り出発前に接種してから現地に向かってください。
- ワクチンで予防できる感染症（優先順位：高◎、中○、低△）
  - ◎麻疹・風疹混合ワクチン（2回の接種記録がない場合に接種を推奨）
  - 破傷風トキソイドワクチン
    - ※創傷を負う可能性がある作業に従事する場合には接種を強く推奨
    - ※特に50歳以上（2018年度調査時年齢：2020年現在は52歳未満と推定される）では免疫を持っている人が少ないので接種を推奨（参考資料「感染症流行予測調査」）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/y-graphs/8790-tetanus-yosoku-serum2018.html>)

※50 歳未満（2018 年度調査時年齢：2020 年現在は 52 歳未満と推定される）で、小児期に DPT,DT ワクチンの接種を受けている方は、過去 10 年以内に接種を受けていなければ、1 回の追加接種を推奨

### 3 被災地での活動中

○活動期間中は、ご自身の体調管理（毎朝の体温測定等）を行い、体調不良、特に新型コロナウイルス感染症を疑う症状が出た場合は、活動を休止し、決められた手順や指示に従ってください。

○活動期間中の訪問先、面会者等の行動記録を取ってください。行動記録は、活動地域で新型コロナウイルス感染症が発生した場合の迅速な対応に役立ちます。

○流水と石鹸による手洗いをしてください。特に、食事前、調理前、トイレ使用後の手洗いは重要です。

（手洗いの手順：<https://www.kantei.go.jp/jp/content/000059529.pdf>）

○流水による手洗いができない場合は、目に見える汚れが無ければ、擦式アルコール性手指消毒薬で手指消毒をしてください。

（手指消毒の手順：[https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disasters/handhygiene\\_20160424.pdf](https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disasters/handhygiene_20160424.pdf)）

○土ほこりや他人の咳等による感染を防ぐため、サージカルマスク、N95 マスク、防塵マスク等を着用してください。マスクで鼻と口の両方を覆って隙間がないように正しく着用してください。

○これらのマスクがない時に咳やくしゃみをする時は、咳エチケット（咳き込む時に口を覆う等）を守りましょう。

（咳エチケット：<https://www.kantei.go.jp/jp/content/000059528.pdf>）

○野外活動を行う際には、蚊やダニによる感染症（日本紅斑熱、ツツガムシ病、重症熱性血小板減少症候群等）、汚水や汚泥による感染症（レジオネラ症、レプトスピラ症等）についても注意が必要です。森林や草地等に行く場合や、屋外での活動時は、肌の露出が少ない服装をすることが重要です。汚水や汚泥からの感染予防には、直接触れることのないよう、手袋や長靴等を着用しましょう

（「マダニ対策、今できること」参照：<https://www.niid.go.jp/niid/ja/sfts/2287-ent/3964-madanitaisaku.html>）。

感染症を被災地に持ち込まないため、また、ご自身が感染症にならないために最大限の努力をよろしく願います。